

## 日本赤十字社神奈川県支部に「救援車両」贈呈に伴う感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

今年度は、災害救護活動等に使用する救援車両1台（横浜みなと赤十字病院）の整備を支援しました。これに対し、日本赤十字社社長から、感謝状をいただきました。

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 1. 日時     | 令和5年2月14日（火）           |
| 2. 場所     | 神奈川県庁 4階 正庁            |
| 3. 感謝状贈呈者 | 日本赤十字社社長               |
| 4. 受贈者    | 神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会 |

### 5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成してきました。

東日本大震災以後は、災害時対応の通信指令車、器材搬送車両、救急車など、災害現場で活用する車両をはじめ、被災者に配布する援護物資の整備、更に昨年は、災害時に医師や看護師ら医療スタッフが乗車し、資機材を搭載して災害現場に急行するための救急車などこれまでに寄贈した車両は、合計32台に達しています。（現在、稼働しているのは12台）

今年度は、災害救護活動等に使用する救援車両1台を横浜市立みなと赤十字病院に整備しました。

これに対し11月15日、神奈川県庁において、日本赤十字社神奈川県支部黒岩祐治支部長から日本赤十字社社長感謝状をいただきました。



感謝状を持つ伊坂会長とレプリカキーを持つ黒岩知事



寄贈した救援車両とともに記念撮影

※この模様はTVKのニュースで放映され、神奈川新聞、毎日新聞等にも掲載されました。